

明暗を分ける 日本企業の10年後の予測について

コロナ禍で激変した世界の情勢を踏まえた10年後のビジネスは？

ビジネス後退国と世界では呼ばれている日本の企業がこの10年間どのような事を行っていくべきかを講演致します。

アメリカや中国の現地でないと手に入らない情報を踏まえて、今日本が置かれている現状を考察致します。



株式会社 LIFESYNC 代表取締役

講師

平田 辰徳 氏

1981年5月生まれ（40歳） 東京都江東区出身
現在は阿南市長生町で日和ファームを展開。2019年より住民票も阿南市に移す。

日本初の建築様式の住居を阿南市長生町で建設中。

システム開発・ITインフラ事業を東京港区で展開しており、グループ総社員数約200名。

100%子会社として、株式会社イーゼス、ベトナム現地法人スターイノベーションズを率いています。イーゼス社は日本では数少ない、ITセキュリティのソフトウェアを自社で開発している企業で、製品である「セキュリティドクター」は、藤原達也さんのCMで有名なSKY株式会社が代理店を行うなど、IT業界では頭角を現している企業となります。

スターイノベーションズ社はベトナムホーチミンにおいてオフショア開発を行い、ベストベンチャーに選ばれるなど世界でも幅広く活躍しております。

そしてグループ経営の一環として、2019年より阿南市で6次産業の実現を目指し、農業法人日和ファームをスタートさせました。

平田氏は阿南市は世界一の後退都市であると共に、実は世界一の先端都市でもあると仰っており、阿南市の企業は現状を踏まえた投資を的確に行えるかどうかで、大きく明暗が分かれると考えます。これからの日本の未来を見据えた企業存続の内容を踏まえた講演を行って頂きますので、是非ご参加くださいませ。